



NHK本社を東西持ち回りしてらぶっていいんではないか?

「リ アル下町ロケット!?」の続報です。大阪の毎日放送に出演した後、電話やメールが三〇〇本以上殺到しました。

やはり全国ネットで放送されると、反響がすごいですなあ。僕も時たまテレビには出ますが、例えば同じ毎日放送でも、大阪ローカルだけで放映されると、東京のキー局に送られ、全国に配信されたのでは、反応が全然違います。

東京の会社は、それだけ得たということです。同じ中小企業でも、僕ら東大阪より、テレビのキー局や新聞本社のある東京の大田区が多く取り上げられるんです。冬季オリンピックで話題になった下町ボブスレーも、あちこちで、何回も放送されましたからなあ。

関西の大学は箱根駅伝に出れません

大学駅伝もそうです。毎年、箱根駅伝が正月を飾る風物詩として、テレビを賑わします。

今年は、視聴率が三〇パーセントを超えました。青山学院の四連覇を止めた東海大学、無念の総合順位・第三位の東洋大学など、ドラマは尽きません。

大学の駅伝では、出雲駅伝、全日本大学駅伝、そして箱根駅

伝すべてを年度内に制することを駅伝三冠と言うそうです。

そやけど、関西の大学は箱根駅伝には出れません。なぜかというと主催が関東学生陸上競技連盟やからです。箱根駅伝は実は関東ローカルの駅伝なんです。関西から見ると、申し訳ないけど、箱根駅伝では、あまり知らない大学がようけ走っています。箱根を走りたいために、関西出身の学生が関東の大学に進学するとも聞いてます。

青山学院の原監督は、箱根駅伝の全国化を提唱しています。長く続いた伝統は、それなりに大事かも知れませんが、関西人としては、どこの大学も出場の可能性がある全国化を検討して欲しいと思います。

そもそも箱根駅伝は、オリンピックの長距離やマラソン選手の育成を、目的にしたものやと聞きます。

つまり箱根駅伝は、選手育成の手段で箱根を走るのが目的ではなかったんです。

そやけど、関東ローカルの競技が、東京の新聞社やテレビ局が大きく取り上げることにより、大きな注目を浴びている……。そうすると、箱根を走ること自体が目的になった選手も、多いのとは違いますか。

僕は手段が目的になるのは、それもありがたなと思います。出



●(株)アオキ取締役会長
青木 豊彦 (あおき・とよひこ)

1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし、人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。現在は(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事としても活躍中。



場した選手のみながみな大学出て、陸上続けるとは思わないし、箱根に出たことを誇りに思い、他の仕事に打ち込めば、それはそれでええと思います。

目的とは別の枝葉が伸びたら、無理に切らなくてもええと思います。むしろそれを伸ばしたら、よいものが出るかも知れません。

ノーベル賞の研究も、最初つくろうと思ってたものがうまくいかなかったり、失敗したりしたとき、そこから考えたものが、別の大きな成果につながったりするそうです。

「青木さんの話もそうですな。あっち行ったりこっち行ったり、どこに着地するかようわかりませんが、いつも何とかなっています。無理にまとめようとしないのが、いいんですかね」と東京のおっちゃん。

**今でもNHKの朝ドラは
大阪と東京で交互に制作しています**

さて、箱根駅伝の手段や目的は置いといて、今日の話題は情報の量のことです。ほんまかいな(笑)。

箱根駅伝でも、大田区の中小企業でも、日の当たることの多いのは、東京でやるからです。いい悪いは別にして、マスコミは東京が圧倒的に力持っています。

それで、どうですよ。せめてNHKだけでも、東京と大阪で、何年かごとに本社を持ち回りにするとか。

今でもNHKの朝ドラは、年二回、大阪と東京で交互に制作しています。

江戸時代のころ、江戸の街では、北町奉行所と南町奉行所は、月番で交代して仕事していたそうです。

本社を、東京と大阪で毎月変わるのにはさすがにしんどいでしょうから、何年かに一度変えるというのはどうですか。

文化庁は二〇二一年に、京都に本格移転します。僕は中小企業庁も、大阪に是非、移転して欲しいと思います。

そんなんに比べれば、NHKの本社持ち回りは、大したことないように思えます。

東京には、四大ネットワークと呼ばれる民放局がありますから、NHKが本社でなくても、東京の情報には事欠きません。

また持ち回りすることにより、東と西で切磋琢磨できるでしょう。「僕の子どもの頃、田舎のテレビはNHK二局と民放一局だけでした。それで鉄腕アトムは見られても、月光仮面は見られませんでした。そこから東京に来て、民放テレビがたくさんあるのがうれしくてうれしくて……」。

東京、もとい。「田舎育ち東京在住」のおっちゃんの情報過疎の昔話はさておき、ネットは普及しましたが、まだまだ情報の発信は東京一極集中です。なんとかしませんか。

■ 2018年度における学生三大駅伝の結果

名称	出雲全日本大学選抜駅伝競走 (出雲駅伝)	全日本大学駅伝対校選手権大会 (全日本駅伝)	東京箱根間往復大学駅伝競走 (箱根駅伝)
開催日	2018年10月8日	2018年11月4日	2019年1月2日~3日
成績 1位	青山学院大学	青山学院大学	東海大学
2位	東洋大学	東海大学	青山学院大学
3位	東海大学	東洋大学	東洋大学
コース	鳥根県出雲市出雲大社から 出雲市出雲ドーム	名古屋市熱田神宮から 三重県伊勢市伊勢神宮	東京都千代田区大手町 読売新聞社前から神奈川県箱根町 芦ノ湖駐車場入り口往復
第1回開催年	1989年	1970年	1920年